

CMコンポのお手入れ方法

☆走行(車輪・レール上)部位

- ①走行車輪についているチェーンに1ヶ月に1~2回オイルを塗布して下さい。
 <オイル塗布箇所> 4箇所(片側2箇所ずつ)
- ②ベアリング部位グリスアップを1ヶ月に1回行って下さい。
 <グリス注入箇所> 8箇所(片側4箇所ずつ)
- ③レール上に石などの障害物があった場合、脱線をする恐れがあります。
 定期的にレール上に障害物がないことを確認してください。

☆昇降部位

- 昇降部位チェーンに1ヶ月に1~2回オイルを塗布して下さい。
- ④ 6箇所(片側3箇所ずつ)
- ⑤ 2箇所
- ベアリング部位グリスアップは1ヶ月に1回行って下さい。
- ⑥ 昇降ボックス内ベアリング 2箇所
- ⑦ 昇降上部ベアリング 8箇所(片側4箇所ずつ)
- ⑧ 昇降下部ベアリング 8箇所(片側4箇所ずつ)

☆ロータリー攪拌部位

- ⑨チェーンケース内のオイルの点検は1ヶ月に1回行って下さい。オイルがなくなると、チェーンケース内の磨耗が激しくなり、オイルシールやチェーンを痛める原因になります。
- 注：チェーンに油気がない時は、オイルが不足しているサインとなりますので、その場合は片側にオイル2リットルずつ注入して下さい。

- ⑩チェーンケース内のベアリング部位は1ヶ月に1回グリスアップを行って下さい。
 <グリス注入箇所> 2箇所(片側1箇所ずつ)

- ⑪ロータリーのドラムに付着した堆肥は、定期的に掃除して下さい。
 注：堆肥が大量に付着した場合、本体に負荷が掛かり、振動する事があります。

- ⑫ロータリーの爪の点検を時々行って下さい。
 注：爪の耐用年数は、堆肥の種類や使用頻度によって多少異なりますが概算2年です。
 刃先が薄くなっている場合や、折れていると堆肥の移動量が減る原因となります。

☆スライド部位

- ⑬スライドモーターについているチェーンに1ヶ月に1~2回オイルを塗布して下さい。
 <オイル塗布箇所> 2箇所(片側1箇所ずつ)
- ⑭ベアリング部位グリスアップは1ヶ月に1回行って下さい。
 <グリス注入箇所> 4箇所(片側2箇所ずつ)
- ⑮ロータリーの攪拌時に堆肥の中に、異物(石など)が混入されていた場合、ロータリーの攪拌によって飛散し、フレーム上に石が乗ってしまう事があります。
 定期的にフレーム上に石などの障害物がないかどうか確認してください。

